

麒麟ビバレッジ 2020年11月販売概況レポート

1.麒麟ビバレッジ社

カテゴリー	前年比
清涼飲料合計	91%

- ・外出自粛の影響で、清涼飲料市場全体は単月前年比 95%、累月前年比 93%となった。
- ・当社は、単月前年比 91%で着地。
- ・生茶は、9月発売の「生茶 ほうじ煎茶」の好調が寄与し、単月前年比 105%。
- ・午後の紅茶は、CVS チャンネルを中心に伸び悩み、単月前年比 81%。
- ・プラズマ乳酸菌飲料は、「iMUSE」ブランドの「機能性表示食品」としての新発売が寄与し、単月前年比約 3.6 倍と伸長した。

以上